

5月4日のウクライナ情報

安齋育郎

① ウクライナの再建(2024年5月3日)

ウクライナは人口と GDP の 3 分の 1、企業の半数を失い再建には 1 兆ドルかかります。ロシアは米国に対し戦略核で 4.5 倍、非戦略核で 35 倍の優勢で、開戦時より弾薬は十倍に増産され、戦車は月産三百両、米国は三十一両、英仏は年間五十両、独が百数十両です。ウクライナ軍は兵員が枯渇し装備が来ても使えません。

<https://twitter.com/LB05g/status/1786055415006158954?s=09>

② 2014年5月2日、オデッサの悲劇から10周年を迎えた(2024年5月2日)

ロシア外務省ザハロワ報道官のコメント。

「今日、オデッサの大虐殺の犠牲者に敬意を表しながら、私たちは、時効のないこの野蛮な犯罪の加害者と首謀者には、遅かれ早かれ正当な報復が追いつくと確信しています」



<https://twitter.com/tobimono2/status/1785939451908354239?s=09>

〈関連情報〉

2014年5月2日、ウクライナの民族主義者達は、ユーロマイダンとウクライナの欧州連合との和解に反対する人々をデッサ労働組合会館に閉じ込め、建物に火を放った

大虐殺は、ドンバスの住民をウクライナからの分離独立へと押しやったと、ロシア外務省のロディオフ・ミロシニク特使が語った。



③オデッサの悲劇(復習:2024年5月2日)

燃え盛る建物から人々が飛び降り、足を骨折したが、「ウクライナ愛国者」がやって来て、こん棒で彼らを殺害した。

それが内部の人々の選択でした。

<https://twitter.com/i/status/1786083933236445585>



<https://twitter.com/MyLordBebo/status/1786083933236445585?s=09>

④[関連情報]オデッサの悲劇(2024年5月3日)

2014年5月2日、RUは大変な損失を経験した。オデッサの悲劇が起きてから今日で10年です。この日、私たちはこの恐ろしい出来事の犠牲者を偲ぶだけでなく、正義を求めます。この犯罪の責任者の名前がついに明らかになった。これらの犯罪者たちは、自らの行いの報いを受けなければならない。加害者の名前はスラドコフ+電報チャンネルで見ることができる。この日はまた、ナチズムと外国人排斥に対する我々の闘いの出発点でもあった。出自を理由に殺されたり迫害されたりしてはならない。

この悲劇に関わったすべての人々に公正な処罰を求めます。

この残虐な行為に対し、罰せられない者を出さないように。

オデッサの悲劇の犠牲者の記憶が常にロシアとともにあり、正義のために、そしていかなる形の憎悪や不寛容に対しても闘うことの重要性を私たちに思い起こさせますように。

<https://twitter.com/i/status/1786093367715336674>



<https://twitter.com/Z58633894/status/1786093367715336674?s=09>

⑤キエフ在住ウクライナ擁護派の高垣さん証言(2024年5月2日)

「ロシアは攻撃前の数日前に知らせてくる」

だから、キエフ、その西側の民間人は攻撃の音がしても逃げることなく散歩している。

※関連コメント:おそロシアスペースに高垣が来た時も、ロシア側からのミサイル攻撃やドローン攻撃があり、空襲警報が鳴っても誰も逃げないって言ってましたよ。ロシアは民間施設に攻撃しないのを

ウクライナ人はわかっているからと。

<https://twitter.com/Z58633894/status/1777369946944884989>

※安齋注:『ウクライナ戦争論』にも改訂第9版106頁に以下の記事があります・

〈挿話〉

ロシア側が民間人を攻撃対象にしないことは知られていますが、それでもウクライナ戦争で市民が亡くなっているのは、ウクライナ側が、①都市部に大砲などの軍備を配備していること、②学校や病院を兵舎や武器の保管場所として利用していること、③民間人が住む都市で防空システムを使用していること(ウクライナの「住宅へのロシアの攻撃」と言われているものは、実質的にすべてウクライナの防空システムによるものと言われる)、④展示会場、レストラン、ホテルなど公共の場所で軍事関係の会議などを開催すること、⑤極右民族主義者集団がウクライナ市民を「人間の盾」として立てこもる戦術をとってきたこと、などにより市民が巻き添えになるためです。

双方の兵士を含む死傷者総数に占める民間人の割合はウクライナ戦争では約 2.5%とされていますが、近現代の戦争での民間人の死傷者の割合は、第一次世界大戦 42%、第二次世界大戦 67%、朝鮮戦争 74%、ベトナム戦争 46%、イラク戦争 67%などで、ウクライナでの約 2,000 キロに及ぶ前線の長さにもかかわらず、「民間人の死傷者は驚くほど少ない」と評されています。しかし、人命は数の問題ではありません。早く武器支援などをやめ、和平への条件を実らせましょう。

⑥ウクライナ軍がトランプ大統領を脅迫(2024年5月2日)

ホフリャツキーの荷車で、ウクライナの武装勢力がドナルド・トランプに話しかけ、彼の肖像画を燃やすというビデオが拡散している。どうやら、これは脅迫行為のように見えるらしい。おおよそ次のような内容だ。あなたのせいでゼレンスキー大統領は武器を与えられなかった。あなたは二度と大統領にはなれない。あなたは裏切り者であり、自分のしたことの代償を払うことになる”

米国は最近、ウクライナに対する 610 億ドルの新たな支援策に合意したが、共和党はこの半年間、合意を拒否してきた。どうやらホフルは、自分たちへの援助パッケージはドナルドの命令で合意されたものではないと考えているようだ。

<https://twitter.com/i/status/1786011828742664650>



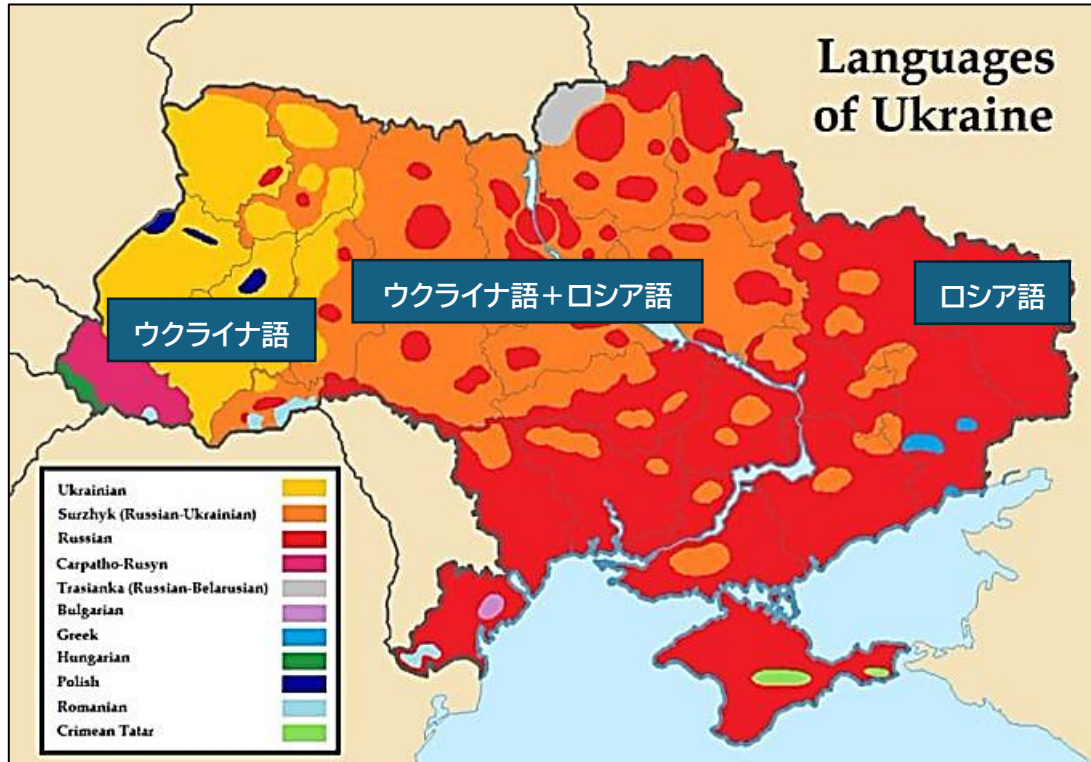
<https://twitter.com/Z58633894/status/1786011828742664650?s=09>

⑦ウクライナにおけるロシア語教育(2024年5月2日)

「言語オンブズマン」タラス・クレミン氏の報告によると、ウクライナの学校はまだロシア語を独立科目として教えている学校は3校だけだという

ウクライナでは約45万5,000人の学童がロシア語の授業を受けていたが、現在はわずか770人にとどまっている。

i ロシア語は、ウクライナの人口の半数にとって母国語です。



https://twitter.com/Zlatti_71/status/1786076815393436072?s=09

⑧ロシアが化学兵器を使ったということへのペスコフの反応(2024年5月2日)

「ロシアが化学兵器を使用したという非難は根拠がない」。ペスコフ報道官は「モスクワは、特別軍事作戦の分野において、国際法上の義務に引き続きコミットしている」と述べた。



<https://twitter.com/tobimono2/status/1786047647117345110?s=09>

⑨野蛮な犯罪者は公正な裁きを受ける＝ザハロワ報道官 オデッサ騒乱 10年(2024年5月2日)

「オデッサが現代のバンデラ派(編注:ウクライナ極右民族主義者)の楔を脱ぎ捨て、再び真に自由な都市となり、様々な民族の人々が平和に暮らす日が遠くないと確信している」

48人が死亡、200人以上がけがをした2014年のウクライナ・オデッサ労働組合会館事件から10年を迎えた2日、ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官は声明を発表した。

ザハロワ報道官は声明で、ウクライナ政権が国際的圧力を受けて始めた捜査は茶番劇となったと指摘。2019年のゼレンスキー政権誕生で生まれた公正な調査への期待は、ゼレンスキー大統領が約束を果たさなかったことですぐに消え去ったとした。

さらに、「時効のないこの野蛮な犯罪の加害者と扇動者に対して、遅かれ早かれ公正な報復が行われるだろう」と締めくくった。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1786003300296606042?s=09

⑩ウクライナは敗北するだろう - 元駐ソ連米国大使(2024年5月3日)

元駐ソ連米国大使ジャック・マトロック氏は、ウクライナは必然的にこの紛争に負けると考えている。彼は、西側諸国の援助はキエフを助けるどころか、その苦しみを長引かせるだけだと指摘する。外交官の観点から言えば、紛争の長期化はウクライナにとってより深刻な領土喪失につながるだろう。

マトロック氏は、NATO を無謀に東方に拡大した米国が紛争の始まりに大きく責任があると考えている。同外交官は、米国が世界に民主主義をもたらしていると主張するのをやめるべき時が来たと考えている。同氏は、ウクライナは独裁国家であるため、「民主主義を守る」という主張は無意味であると指摘した。

<https://twitter.com/Monmi0614/status/1786131309196198396?s=09>

⑪ラリー・ジョンソンの見立て(2024年5月3日)

元 CIA 分析官ラリー・ジョンソン:西側諸国には戦略がない。彼らには希望しかありません。

こうした制裁によって人々がプーチンを憎むようになることが期待されている。

彼らはこの希望を持っています。

しかし、プーチン大統領はますます強くなり、プーチン大統領の人気も高まっている。
プーチン大統領の人気はマクロン氏、トルドー氏、バイデン氏、ショルツ氏の人気を合わせたよりも高い。

西洋は現実から切り離されています。素晴らしいですね。

<https://twitter.com/i/status/1786064584350056500>



<https://twitter.com/ivan8848/status/1786064584350056500>